

白 山

令和6年12月1日

令和6年度第三地区広報誌「白山」第1号

第三地区協議会長 斎藤 均

任期2年目を迎え、私達第三地区民生委員児童委員協議会のメンバーも団結を深め、地域の見守り役としての活動にも力が入っています。令和6年度も研修や実のある活動を行ってきましたので、ご報告させていただきます。

第三地区町内会長との懇談会

吉田 豊

今年度の町内会長との懇談会では、第一部として、「空き家の現状と対策について」というテーマで小千谷市商工振興課の近藤圭介様による講演がありました。

今、空き家の増加が社会問題になっています。令和6年5月現在、全国で約900万戸の空き家が存在しています。新潟県は15万6000戸で空き家率15.3%となっていて、小千谷市でも令和4年度、空き家の実態調査では483戸の空き家が存在しています。

空き家になる主な理由として、「親が亡くなった」「施設に入所した」「別荘住宅を建てた」「管理出来なくなり、アパートに住むことにした」等の理由があります。空き家の放置により＜劣化・犯罪・損害賠償・警官悪化＞等のリスクが発生する危険が生じます。そこで空き家の管理活用として、空き家を買う、借りる等の動きが出ています。そのために空き家情報バンク、家財道具等処分事業補助金等の制度があります。利活用可能な空き家の情報を登録し、空き家の有効活用・定住促進による地域の活性化を推進するものです。等のご講義をいただきました。

その後、講演いただいた内容を題材に参加者で話し合いをしたり、現在抱えている民生委員としての課題、町内会長としての貴重なご意見をいただく機会となりました。

県外視察研修会に参加して

渡辺 ノブ子

- ・期 間 令和6年6月7日（金）～8日（土）
- ・行き先 石川県かほく市
- ・参加者 41名

かほく市は石川県のほぼ中央に位置し、人口約3万6千人。1月に発生した能登半島地震で最大震度5強ということでしたが、災害は少なかったとのことでした。



交流会の議題は（１）各民児協概要説明（２）活動強化方策（３）情報交換でした。

かほく市の民生児童委員は 88 名（主任児童委員 8 名を含む）他に民生委員児童委員活動を補助する地域福祉推進委員 205 名。活動強化方策では私達がどのように取り組み、まとめ上げたかを説明をし、意見交換をしました。石川県では、取り組みが遅れており、完成したところはないということで、今回のことが参考になれば幸いです。宿泊は辰口温泉でした。田んぼの中から噴き出した 1400 年の歴史がある温泉で、親睦会ではカラオケも踊もせずひたすらしゃべって親睦を深めてきました。



コロナ禍や能登半島地震で低迷していた観光も徐々に復活し、金沢市内は観光客で混雑していました。今回の研修で「地域福祉推進委員」という役割を知り、今後は活動強化方策の見通しと共に実情にあった地域福祉活動ができればと思っています。

「小千谷小学校学校訪問」から（9月3日）

関 昌子

第三地区では、主任児童委員が担当となって「校長先生のお話を聞く会」を実施してきましたが、子どもたちや学校の様子を直接知りたいという委員からの要望を受け、今年から「学校訪問」に変更し、5校の小・中学校を毎年一校ずつ訪問させていただくことにしました。

今年は、小千谷小学校を訪問。授業参観と給食体験、そして懇談会を行いました。

教頭先生の案内で1年生から6年生までの学習の様子を見せていただきました。自分たちの小学校時代とは、授業や校舎の造りなどが大きく違うことに委員の多くがびっくりしました。教室はオープンスペースとなっていて、隣のクラスの音が学習への集中を妨げるのではと思われたのですが、子どもたちの様子からはそんな心配はいりませんでした。



授業に工夫がなされていて、タブレットを使ったり、実物を持ち込んだり、個別指導があったりと、700人近くの子どもたちが、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでいました。



給食体験では、低学年の教室に招待され、配膳の様子から食べ終わって質問タイムまで楽しませてもらいました。給食の残りが出ないように配膳やおかわりのルールも学級ごとに工夫されていました。新型コロナウイルス流行時には、全員が前を向き黙食していたそうです。今は、顔を見ながら食べることができ、笑顔があふれていました。食は子どもたちの成長にとって大切なものだから

ら、楽しくありたいと思いました。

懇談会では、校長先生から学校の様子や私たちへ期待することをお話いただきました。

家庭・地域と学校・関係機関をつなぐのは難しい面が多々ありますが、私たちにできることから始めていきたいと思いました。登下校中の事故防止のための見守りは、

すでに取り組んでいる委員もありますが、「ながら見守り」（できるときにできる形での見守り）でよいので協力して行きましょう。

今回は、給食の時間を利用して「民生委員・児童委員」について、

放送で話をさせていただきました。先生方や子どもたちにとって私たちが少しでも身近な存在になり、役に立つことができればとの思いからです。

学校訪問を通して、学校や子どもたちとの距離が縮まったことを感じました。お互いを知ること、大切なことですね。



地区研修会に参加して

水口 道代

11月12日秋晴れの日、塩殿にある小千谷市立総合支援学校を見学してきました。まずは教頭先生から学校の概要説明があり、今年創立10周年ということで作成されたビデオを見せて頂きました。この学校ができたことにより保護者の皆様の通学に際しての負担もかなり軽減されたそうです。

その後、11月下旬に行われる行事に向けた楽器を使ったりハーサルで、一生懸命に演奏する姿や、大きな声を出して発表する姿など頑張っている様子を見ることが出来ました。小学部のそれぞれの



特性のある子ども達に対しての先生方の熱心な指導に頭が下がります。また、中学部では物品販売用のステンシルメモ帳を作成していて、生徒さん達の丁寧に作り上げる姿が印象的でした。

この学校を卒業した後、一人ひとりが個性を認め合い、生きやすい社会になっていく事を願わずにはられません。学校教育目標である「地域とともに自分らしく生活する子ども」を踏まえて地域で出会う皆さんと交流を深めていきたいと思います。

